

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 当院における総胆管結石に対する治療成績の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 消化器内科 職位・氏名 助教・齋藤 倫寛

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院消化器内科では、総胆管結石に対し内視鏡的治療を積極的に行っています。総胆管結石に対する治療は内視鏡的切石術が標準となっていますが、超高齢患者や消化管術後症例の増加に対する対応や、ERCP 後膵炎や胆管炎などの術後偶発症に対する予防策など検討が必要な課題も残されています。当院での総胆管結石に対する現状と課題を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、よりよい総胆管結石に対する治療戦略の確立につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2006年1月～2020年10月までに東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科において、総胆管結石の診断で内視鏡的治療を受けた患者さんを対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。対象数は約800例の予定です。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

【外部への試料・情報の提供】

外部への試料・情報の提供はありません。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科

職位・氏名 助教・齋藤 倫寛

電話 03-3468-1251 内線 2022